

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.28

決算特別
委員会号

ちよまつ ひろやす
泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (31歳)

平成15年度普通会計歳出決算		
	支出額	構成比
議会費	3億1,884万円	0.8%
総務費	38億1,367万円	9.4%
民生費	106億6,180万円	26.2%
衛生費	40億3,710万円	9.9%
労働費	4,600万円	0.1%
農林水産費	3億4,263万円	0.9%
商工費	1億3,814万円	0.3%
土木費	80億886万円	19.9%
消防費	13億2,724万円	3.3%
教育費	34億3,072万円	8.4%
公債費	59億9,706万円	14.7%
前年度繰上充用金	24億9,129万円	6.1%
災害復旧費	185万円	0.005%
合計	406億9,494万円	100%

(公会計の場合、一般会計と普通会計ではどの項目をカウントするかで若干数字が異なります)

歳入で前年度に比べて
地方債(借金) 23億
2,300万円、国庫支出
金 17億8,500万円、
諸収入 4億8,300万
円が増加していますが、繰
入金 22億1,300万円、
地方税 13億2,700万
円、財産収入 8億900
万円が減少しました。地
方税が大きく減少してい
る理由は、固定資産税の
評価替えによる影響で、2

度(平成15年度だけ)で
は4億8,544万円の
赤字であります。

裏面
平成14年の泉佐野市議会議員普
通選挙で掲げました重点政策目標
を自己評価しています。

11月8日(月)から10日(水)の3日間に渡り、平成15年度の各会計歳入歳出の審査をする決算特別委員会が開かれました。平成15年度の普通会計の決算は歳入が377億556万円、歳出が406億9,494万円の前年度に比べ

て、歳入で3億1,361万円、歳出で8億1,169万円の増加となっており、翌年度へ繰り越す399万円を除いた実質収支は29億9,337万円の赤字となっております。昨年度までの累積赤字が25億793万円でしたので、単年

平成15年度決算特別委員会!!



今年豪雨・台風・地震と嫌でも自然と向き合うことを余儀なくされた1年でありました。特に、新潟県中越地震による影響は想像を絶するものがあり、その爪あとは、いまでも被災者の皆様の心に深い傷跡として残っています。多くの犠牲者に対してお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。泉佐野市におきましても、豪雨・台風の影響は大きく、特に老朽化が進んでいる学校施設におきまして雨漏り等の被害が起きております。この12月議会では、第一小学校の屋上防水工事に555万円、第二小学校の防水工事に100万円の補正予算が上がってきております。厳しい財政状況の中にあっても、このような対応は迅速にしていかなければならないと考えます。

年連続で10億円を超える減収となって市税収入が多い泉佐野市にとって大きな打撃となっております。歳出では、積立金9億4,500万円、人件費8億7,500万円、補助費等で6億9,600万円減少しましたが、投資的経費29億4,600万円、扶助費4億3,900万円、操業金2億1,600万円が増加しました。人件費の減少は、退職者数の減による退職手当の減少で2億8,500万円、職員給の給与3%カット、職員数の削減、人事院勧告による期末勤勉手当の0.25ヶ月の減などで5億8,500万円減少しました。3日間の慎重審査の結果、決算特別委員会では最終日の採決において平成15年度の各会計歳入歳出決算の認定を可とすることとなりました。

12月議会

12月2日に開催されました定例議会の初日に、戸野茂議長、伊藤百合子副議長が新しく選任されました。私は今回、新しい議長のもとで新しいスタートを切っていただけだとは思いますが、副議長を交代していただくことになりました。慣例によりまして副議長の在任中は、議会における一般質問を控えておりましたが、12月議会から再開し、今までもお住みの方々の声を市政に届けていきたいと考えております。

がんばり
ました

がんばって
います

もっと
がんばり
ます

Pol.1 「新しい時代の21世紀型 行政システム」の確立

行政評価システム、バランスシート、環境ISO14001などの導入や情報化を積極的に図り、新しい時代の行政システムを構築します。また市町村合併を見据えた広域行政を推進し、関西空港と一体となったまちづくりに取り組みます。

行政評価システムは平成17年4月に導入される予定です。バランスシートはすでに作成されていて、どのように公表するかの段階です。3市2町の合併に関しては、泉州南合併協議会の委員として積極的に推進しました。しかし3市2町の合併は泉佐野市以外の各自自治体の住民投票結果によって破綻しました。これからは今までの広域行政を見直し、泉佐野市民の方々が納得のいくようなかたちを行政に対して提唱していきます。

Pol.2 「新規産業の育成・誘致と 地元産業・商業の振興」

新しい時代の経済活性化の原動力となると言われているベンチャー企業を育成・誘致する制度を確立するとともに、歴史のある地元産業・商業・観光スポットの振興に力を尽くし関西空港の玄関口にふさわしいまちづくりを実現します。

りんくうタウンへの産業集積促進条例は制定されましたが、ベンチャー企業育成や誘致制度の確立は、厳しい財政状況の中で、進んでいない状況であります。地元産業振興としては、青空市場の案内看板の設置などは実現できましたが十分ではない状況です。今後も機会を通じて要望を続け、実現に向けがんばります。

Pol.3 「泉佐野市の教育を抜本的に変革」

泉佐野市をこれから背負って立つ世代の健全なる育成のために、戦後教育を根本から見直し、新しい時代の骨太の教育に改めていきます。また歪な通学区の再編、老朽化した学校施設の改善、教育委員会改革に努めます

通学区の再編とはいかないまでも、一部の地域で弾力化が進みます。(来年度実施予定)第一小学校屋内運動場の床張替えや佐野中学校の海側便所の改善ができました。今後は、青少年の健全育成のためにどのような教育が求められているかをよく勉強し、学校・地域・家庭の連携が深まるような取り組みへの支援を、機会を通じて提唱していきます。



Pol.4 「バリアフリーを目指したまちづくり」

公共施設等のバリアフリー化を推進し、高齢の方々や障害をもつ方が安心して暮らせる、やさしいまちづくりを進めていきます。また世代間等の垣根を越えてふれあうことが出来るスポーツ・催しを振興することで地域の活性化に取り組みます。

松原住宅の建替えではバリアフリーが進みました。今後も新規や大規模改修する公共建築物はバリアフリーが進む予定です。しかし既存の建築物では進んでいないところが大半であります。市内各地を十分に視察し、気付いたところから行政に対して要望をしていきます。世代間の垣根を越えてふれあうことが出来るスポーツ・催しなどは個人的な活動の中で様々なイベントに積極的に参加し支援しています。

Pol.5 「りんくうタウンを世界に発信！」

泉佐野市の財政難の大きな要因としてりんくうタウンの未成熟が挙げられます。りんくうタウンに「大学」等の人が恒久的に集まる施設を誘致して、産・官・学が一体となったまちづくりによる活性化を図るとともに、起爆剤的なイベントを誘致し、りんくうタウンを世界に発信します。

昨年の12月議会では、自由民主党が提出した府立大学誘致の意見書が採択されました。今後も府立大学誘致の活動を続けていきます。また最近では航空保安大学の移転の話も浮上し、これについても実現に向けてがんばります。イベントの誘致は、日本初の公道サーキットの誘致に向けてNPO活動を続けています。

Pol.6 「市民参画と開かれた政治の実現」

多様化する行政ニーズに応えるために、「パブリックコメント制度」や「市民公募」などの政策決定に反映出来る市民参画をすすめ、市民・行政・議会が一体となってまちづくりを行える体制づくりやネットワークの構築を目指します。また議員の義務として議会情報を積極的に開示し、市民の方々への説明責任を果たします。

議員としての住民の方々への説明責任は「まちのスケッチブック」や「ホームページ」を通じて果たしていると思います。これからは、「住民の声」を聞ける場づくりを行っていきたくと思っています。制度的なものの構築はまだ達成できていませんが、今後も市民参画の推進に努めていきます。

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2004 和歌山大学大学院在学中
- 1999.4 株式会社 振堀製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選

- 【現在】
- (社) 泉佐野青年会議所理事
 - (NPO法人) 大阪夢づくり協議会理事
 - 泉佐野市バレーボール連盟会長
 - 同大アメフト部OB会常任理事
 - 自由民主党泉佐野支部政務調査会長
 - 自由民主党第19選挙区支部青年部長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
 TEL 58-1708
 FAX 69-0311

ホームページ
 メール 発行部数累計
<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
chiyoma51@hotmail.com
 365,500部 2004.12第28号

* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。